

令和2年コウナゴ曳網調査結果 NO.3

令和3年2月2日
福島県水産海洋研究センター

調査方法

- 調査指導船「いわき丸」で1月20日にいわき海域、1月21日に相馬海域、富岡海域にてコウナゴ調査を行いました。
- 調査点は以下のとおりです。
いわき海域：37-00N、141-2E～141-6E の2点 相馬海域：37-50N、141-2E～141-6E の2点
富岡海域：37-25N、141-5E～141-9E の2点
- 新稚魚ネットで見層を10分間曳網しました。

結果

- いわき海域ではコウナゴは採捕されませんでした。相馬海域では2尾、富岡海域では1尾採捕されましたが、低調となっています(図1、図2)。
- 相馬海域で採捕されたコウナゴは全長5mmと6mmでした。
- 富岡海域で採捕されたコウナゴは全長7mmでした。

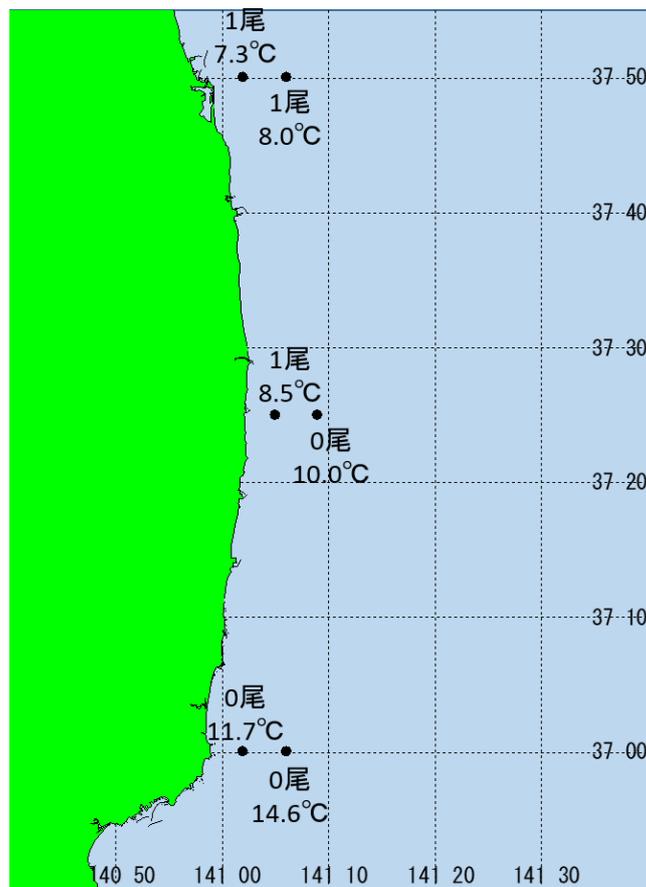


図1 コウナゴ採捕尾数

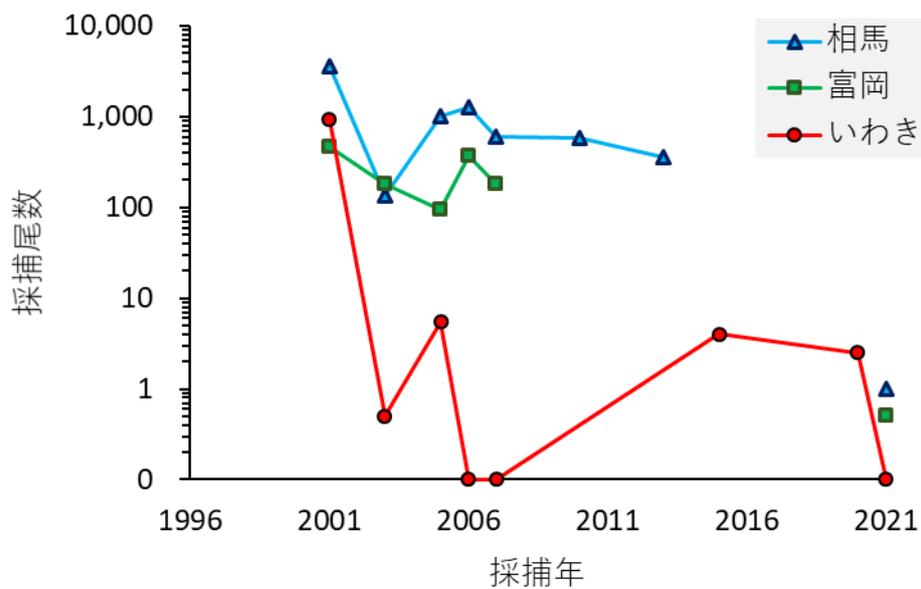


図2 1月(中下旬)におけるコウナゴ採捕尾数(新稚魚ネット)

新稚魚ネットについて

新稚魚ネットの構造は以下の模式図のとおりです。各調査地点において、表層を曳網船速2ノット程度で10分間曳網しております。

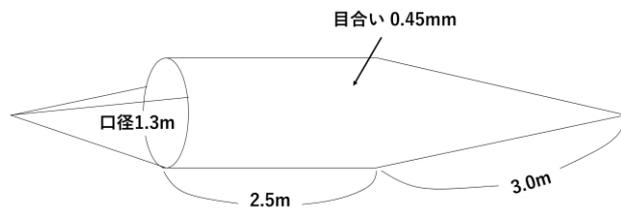


図3 新稚魚ネットの模式図

福島県水産海洋研究センターホームページにてカラーの画像を掲載しています
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/kounago.html>